

## 報告書

# 平成 3 0 年度学校活動等に関する外部評価結果

【第 2 回内部評価委員会実施状況】

実施日：平成 31 年 2 月 13 日（水）

【第 2 回外部評価委員会実施状況】

実施日：平成 31 年 2 月 26 日（火）

沖縄県立農業大学校

(様式1)

平成30年度 沖縄県立農業大学校評価システムシート (内部及び外部評価結果)

作成：平成31年3月

教育の基本方針		1. 次世代の農業を担う経営感覚に優れた青年農業者等、新たな担い手を育成する。 2. 地域の農業振興を先導する実践的リーダーを養成する。			総合評価			
重点目標		(1) 教育内容の充実・強化	(4) 資格取得率の向上	(7) 教育環境整備と施設管理の徹底	A: 80%以上			
		(2) 学生支援の強化 (進路指導の充実、実践力の養成)	(5) 入学希望者の確保	(8) 県民サービスの向上	B: 60%以上80%未満			
		(3) 卒業生の就農率の向上、進路決定率の向上	(6) 効率的な学校運営		C: 40%以上60%未満			
					D: 40%未満			
重点目標	評価内容	評価項目・評価指標	今年度の目標・計画	内部評価	今年度実績	次年度の課題・改善策	外部評価	学校関係者 (外部) 委員の意見
<重点目標1> 教育内容の充実・強化	ア-1 個々の学生の能力に対応した指導が充実されているか。	①個々の能力に応じたプロジェクト課題の設定や指導	<b>本 科 27 課題</b> <b>短期養成科 11 課題</b> (本科) (短期) 野菜 7 3 花き 2 2 果樹 6 5 肉用牛 11 1	A	<b>■概ね計画通りの成果を上げた</b> <b>実績：本 科 26 課題</b> <b>短期養成科 11 課題</b> ・プロジェクト発表会を1月31日に開催、本科26課題、短期11課題の学習成果を発表。 ・発表会の出席人数 保護者 13人 関係機関 42人	<b>■ (*1-内)</b>	A	<b>◆ (*1-外)</b> (*1-内) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①学生から改善要望のある座学授業の展開方法について学生の満足度を高められるよう取り組む。 アクティブラーニングによる授業方法の導入等 ② H31年度の評価項目に「座学授業の展開方法の改善」を追加し、学校全体で取り組む。
		1)九州意見発表会への派遣 2)九州プロジェクト成果発表会への派遣 3)全国農業大学校プロジェクト発表会への参加(東京都)	<プロジェクト研究の評価> ・卒業論文のA評価：90% (本科のみ) ・専攻実習のA評価：95% (本2年+短)		<b>■計画通りの実績を上げた</b> <b>実績：1人 (肉用牛専攻1年)</b> <b>実績：3人 (2課題：肉用牛1課題)</b> (2課題：野菜1, 花き1) ・1/16～1/17に開催の九州大会へ意見発表部門に肉用牛専攻1年1名、プロジェクト発表部門に野菜専攻2年2名及び花き専攻2年1名が発表した。うち1課題が九州代表に選出された。 <b>実績：5人 (野2人、花1人、果1人、肉1人)</b> ・2/14～2/16開催の全国大会にプロジェクト部門九州代表として野菜専攻2年生渡久山君が発表。1年生4名を派遣した。			
	ア-2 先端的な知識・技術を修得するための実践教育や研修に取り組んでいるか。	②農業研究センター・畜産研究センター等との連携プロジェクトの実施数	<b>計画：16 課題</b> 野菜 8 課題 → 7 課題 花き 2 課題 果樹 5 課題	A	<b>■計画以上の成果を上げた</b> <b>実績：17 課題</b> 野菜 7 課題 花き 2 課題 果樹 5 課題	<b>■ (*2-内)</b>	A	<b>◆ (*2-外)</b>

		<p>肉用牛 1 課題</p> <p><b>H30 連携プロジェクト課題数</b></p> <p><b>野 (8 課題)</b></p> <p>①ヤインゲンの節間伸長栽培技術②③④単為結果性品種活用による作業省力化 (ナス、トマト、ミニトマト) ⑤ゴーヤーの減農薬技術⑥⑦天敵利用技術 (ヒーマン、パプリカ) ⑧ハチマの冬春期における収量・品質向上技術・天敵利用技術</p> <p><b>花 (2 課題)</b></p> <p>① 1,2 月出荷に適したトルコキキョウの品種検討②赤色 LED 電球の小菊再電照効果の検討</p> <p><b>果 (5 課題)</b></p> <p>①②③マンゴー (前年の着果負担が生育に及ぼす影響、低樹高化に向けた取り組み、収穫期の前進化技術) ④アテモヤ (剪定時期の移動による収穫期拡大技術) ⑤⑥パッションフルーツ (受粉作業の省力化、仕立て方法の検討)</p> <p><b>肉 (1 課題)</b></p> <p>①若齢肥育技術の習得と収益性検討</p> <p>上記の内、今年度継続課題</p> <p><b>野 (3 課題)</b> : ①インゲンのジベ処理技術の推進②ナスの IPM 技術の実証③ヒーマンの IPM 技術の実証</p> <p><b>花 (1 課題)</b> : ① 1,2 月出荷に適したトルコキキョウの品種検討</p> <p><b>果樹 (1 課題)</b> : ①マンゴー (ヒートポンプ使用による早期出荷検討)</p>	<p>肉用牛 3 課題</p> <p><b>H30 連携プロジェクト課題数</b></p> <p><b>野 (7 課題)</b> : ①ヤインゲンの節間伸長栽培技術②③④単為結果性品種活用による作業省力化 (ナス、トマト、ミニトマト) ⑤ゴーヤーの減農薬技術⑥⑦天敵利用技術 (ヒーマン、パプリカ)</p> <p><b>花 (2 課題)</b> : ①リアトリス長日処理による作期拡大の検討、②トルコキキョウ保温長日処理による 2 月出荷の検討</p> <p><b>果 (5 課題)</b> : ①前年のマンゴー着果負担が生育に及ぼす影響、②マンゴーの収穫期前進化技術の検討、③マンゴー害虫に対する微生物農薬 (ホタニコート) の効果の検証、④アテモヤの剪定時期の移動による収穫期拡大技術の検討、⑤パッションフルーツ受粉作業の省力化及び仕立て方法の検討</p> <p><b>肉 (3 課題)</b> : ①草地造成法の検討、②地域での特定伝染性ウイルス病発生予察調査、③種雄牛造成のための現場後代検定</p> <p>上記の内、今年度継続課題</p> <p><b>野 (3 課題)</b> : ①インゲンのジベ処理技術の推進②ナスの IPM 技術の実証③ヒーマンの IPM 技術の実証</p> <p><b>花 (1 課題)</b> : ① 1,2 月出荷に適したトルコキキョウの品種検討</p> <p><b>果樹 (1 課題)</b> : ①マンゴー (ヒートポンプ使用による早期出荷検討)</p> <p><b>肉 (3 課題)</b> : ①草地造成法の検討、②地域での特定伝染性ウイルス病発生予察調査、③種雄牛造成のための現場後代検定</p>	<p><b>(* 2-内)</b> = 内部評価委員による次年度の課題・改善策</p> <p>①研究機関や地域との連携プロジェクトは、各専攻で積極的に取り組む。</p> <p><b>(* 2-外)</b> = 外部委員の意見</p> <p>①先端的な知識・技術の習得として大変刺激になる仕組みであり、積極的に組んでおり、素晴らしい。</p>	
<p>イ. 先進農家等派遣研修について十分な教育体制を整備しているか</p>	<p>①先進農家等への派遣研修</p>	<p>計画 : 25 人</p> <p>&lt; 県内計画 &gt; 15 人</p>	<p>■ 計画通りの実績</p> <p>実績 : 25 人</p> <p>&lt; 県内計画 &gt; 15 人</p>	<p>■ (* 3-内)</p>	<p>◆ (* 3-外)</p>

		<p>農業法人4件(4人)          先進農家4件(4人)          関係団体等4件(7人)  <b>&lt;県外計画&gt;10人</b>          農業法人6件(10人)          (派遣先:鹿児島、宮崎)</p>	<p>農業法人5件(5人)          先進農家4件(4人)          関係団体等4件(4人)  <b>&lt;県外計画&gt;10人</b>          農業法人6件(10人)          &lt;派遣実習の評価&gt;          ・先進農家派遣実習を9/25～11/5の6週間実施          報告会を11/14に実施。           ・派遣実習でのA評価率:96%</p>	<p><b>(※3-内)</b> = 内部評価委員による次年度の課題・改善策          ①流通分野に興味のある学生についても研修が受けられるよう配慮する。</p> <p><b>(※3-外)</b> = 外部委員の意見          ①計画通りの実績を上げている。派遣実習のA評価率が96%と高い水準を維持しており、十分な調整と有意義な実習が行われたことだと思う。派遣実習報告会の開催方法はどのようにしているか。          先進農家や市場の状況等、積極的に出かけて知識・情報を得たり、関係作りに努めており、学生が今後の農業経営を行う上で参考になる取り組みだと思う。</p>
	②先進農家、市場等視察研修回数	<p>計画:36回          野8回、花8回、          果6回、肉14回</p>	<p>■計画以上の取組実績           実績:44回          野8回、花8回、果11回、肉15回          全専攻2回          ①沖縄県農業青年プロジェクト・意見発表会への聴講研修(37人)          ②新規就農者圃場視察研修(20人)</p>	
	③海外派遣研修	<p>計画:1名</p>	<p>■計画通りの実績          実績:1名(花き専攻2年)          (派遣先:アメリカ)</p>	
ウ.農業高校との連携、地域等との交流活動は行われているか	①農業高校等の連携活動回数	<p>計画:5回          ①県学校農業クラブ連盟大会審査員派遣          ②農産物活用での連携授業          計画:1回(6/29)          ③農業高校生の実習交流等の受入          計画:要相談</p>	<p>■計画以上の取組実績   <b>A</b> 実績:9回          ①実績:職員1名派遣(7/5～7/6、石垣市)           ②実績:農産物加工(6/29)          ハッションフルーツフォンケー、乳酸          ③実績:134人(見学案内のみ)          北部農林高校 熱帯農業科1年26名(4/18)          // 園芸工学科1年26名(5/2)          北部農林高校 生活科学科1年42名(6/7)</p>	<p>■(※4-内) ◆(※4-外)   <b>A</b></p> <p><b>(※4-内)</b> = 内部評価委員による次年度の課題・改善策          ①農業分野の仕事にも興味を持って頂くために、小中学校等からの講話依頼は積極的に受ける。</p>

		<p>④オープンバスツアー開催 計画：1回（6/9）</p> <p>⑤北部農林高校へのプロジェクト学習九州選抜審査会への審査員派遣依頼 計画：1回（12/13）</p> <p>⑥プロジェクト学習成果発表会招待 計画：1回（1/31）</p>	<p>中部農林高校 園芸工学科3年40名（5/29）</p> <p>④実績：1回、2人（6/9）</p> <p>⑤実績：1人、1回（12/13）</p> <p>⑥実績：3人（北部農林高校）</p>	<p><b>（*4-外）＝外部委員の意見</b></p> <p>①積極的に交流をして頂いて感謝しております。</p> <p>②計画以上の実績を上げている。カリキュラムの調整が大変だと思うが、積極的に取り組んでおり素晴らしい。農業高校との交流は将来の農業担い手として大変重要だと思うので、今後も安定的に交流が出来るように努めて欲しい。</p> <p>地域との交流についても農大が関わることで活気がつく。農大卒業生が地域リーダーとして活躍する意識が芽生えるいい機会となっていると思う。</p>
	<p>②地域等との交流回数</p>	<p>計画：13回</p> <p><b>野菜（4件）</b></p> <p>①名護市中山区ゴーヤーの日イベント参加</p> <p>②県庁食堂にて農大ゴーヤーマルシェ</p> <p>③生産部会等との視察交流（随時）</p> <p>④ミニトマト収穫体験受入</p> <p><b>花き（2件）</b></p> <p>①花摘み体験</p> <p>②花き栽培技術向上研修</p> <p><b>果樹（2件）</b></p> <p>①農大マンゴーマルシェ</p> <p>②北部地区マンゴー研究会との交流</p> <p><b>肉用牛（2件）</b></p> <p>①名護市畜産共進会</p> <p>②県枝肉共進会出品</p> <p><b>全体共通（3件）</b></p> <p>①やんばる産業祭り</p> <p>②農大祭</p> <p>③花と食のフェスティバル</p>	<p>■計画以上の取組実績</p> <p>実績：19回</p> <p><b>野菜（5件）</b></p> <p>①名護市中山区ゴーヤーの日イベント参加（5/8）</p> <p>②県庁食堂にて農大ゴーヤーマルシェ（5/8）</p> <p>③生産部会等との視察交流（随時）</p> <p>④北部農林水産業成果発表会にてプロジェクト成果を発表（11/16）</p> <p>⑤ミニトマト収穫体験受入（3月予定）</p> <p><b>花き（3件）</b></p> <p>①花摘み体験（5/31 あすなろグレース保育園28名）</p> <p>②花き栽培技術向上研修（8/11、10/6、11/10）</p> <p>③フラワーアレンジメント教室（12/2）</p> <p><b>果樹（5件）</b></p> <p>①農大マンゴーマルシェ（7/30～8/1、県庁地下食堂）</p> <p>②マンゴー即売会（8/8、道の駅許田）</p> <p>③北部地区マンゴー研究会との交流</p> <p>④なごアグリパークとの連携によるマンゴースイーツの協同開発（11/22）</p> <p>⑤六次化産業研修会への参加（1/21～1/25、6名）</p> <p><b>肉用牛（2件）</b></p> <p>①名護市畜産共進会（8/19）</p> <p>②県枝肉共進会出品（11/9）</p> <p><b>全体共通（10件）</b></p> <p>①やんばる産業まつりは、台風接近のため中止</p> <p>②農大祭（12/2、来場者数2741人）</p> <p>③花と食のフェスティバル（1/26～1/27）</p> <p>④土壌保全の日イベント参加（6/4、15人）</p> <p>⑤親子農業ふれあい体験教室（7/24、22人）</p> <p>⑥中学校での早朝講義（6月～12月6回、210人）</p>	

<p>エ.関係分野との連携による実践的な職業教育が体系的に行われているか</p>	<p>①毒劇物取扱資格取得研修（第一農薬主催、JA主催）への受講学生数</p> <p>②マナー講座の開催（本科1, 2年）</p> <p>③GAPの基礎知識の習得（追加）</p>	<p>計画：12人</p> <p>計画：1回 講師：ハローワーク</p> <p>計画：2回</p>	<p>■計画以上の実績</p> <p>A 実績：延べ17人 ・校内特別講習14名（第一農薬） JA直前講習3名派遣 実績：1回、46人 7/26 外部講師による本科1,2年を対象とした講座を実施。</p> <p>実績：5回 11/20：沖縄総合事務局、12/1：営農支援課、12/18、1/18、2/1：認定NPO法人GAP総合研究所 *職員2名がJ-GAP指導員の資格を取得資格た（10/11～10/12）</p>	<p>■（*5-内）</p> <p>A</p>	<p>◆（*5-外）</p> <p>（*5-内）＝内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①J-GAPの資格を持っている農大職員が講師となり講義を行う。 ②ASIAGAPの資格を持った職員を増やし、現場教育に繋げる。</p> <p>（*5-外）＝外部委員の意見 ①計画以上の実績を上げている。参加者数や講座数が増えており充実している。</p>
<p>オ.防火防災・事故対応訓練は体系的に行われているか</p>	<p>①防災等各種訓練の実施</p> <p>②救急救命措置訓練の実施</p> <p>③交通安全講習会の実施</p> <p>④農作業安全講習会の実施（新設）</p>	<p>①計画：1回 （講師：琉球防災センター）</p> <p>②計画：1回 （講師：名護消防）</p> <p>③計画：1回 （講師：大同火災）</p>	<p>■計画通りの実績</p> <p>A</p> <p>①実績：1回（5/29） 避難・消火訓練・地震対策DVD研修</p> <p>②実績：1回（4/24） 心肺蘇生、AED</p> <p>③実績：1回（7/27） 交通安全講話、ハブ咬症対策DVD視聴</p> <p>④実績：2回 ・農作業安全指針の作成と職員への周知（4/4） ・学生への農作業安全講習（11/6）</p>	<p>■（*6-内）</p> <p>A</p>	<p>◆（*6-外）</p> <p>（*6-内）＝内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①新たな取り組みとして、名護市防災研修センターの活用も視野に入れた訓練を検討する。 ②ヒヤリハット事例について学生と職員に周知する。 ③危機管理マニュアルについて職員と学生に周知する。 ④ハブ対策に関する講習会を専門家を招聘し、実施する。</p> <p>（*6-外）＝外部委員の意見 ①計画通りの実績を上げている。農作業安全講習も加え内容の充実に努めており、今後も継続して欲しい。</p>

<p>&lt;重点目標2&gt; 学生支援の強化 (進路指導の充実、実践力の養成)</p>	<p>ア-1 個々の学生の進路に対応した指導が充実されているか</p> <p>ア-2 保護者との連携は、適切に行われているか</p>	<p>①学生・保護者・担任との三者進路面談回数</p>	<p>計画：2回</p>	<p>A</p> <p>■計画通りの実績</p> <p>実績：2回51名 7/5 2年対象(保護者参加率72%) 10/10 1年対象( " 72%)</p> <p>■計画以上の実績</p> <p>実績：相談会3回36人 農場視察12箇所(うち6人が就職内定)</p> <p>&lt;就農相談会への参加&gt;</p> <p>1)第1回(8/5)実績：0人 2)第2回(12/16)実績：1人 3)農業経営者育成相談会(9/28、35人)</p> <p>&lt;就職先として有力な農場視察&gt;</p> <p>野：5箇所(内1農場に2人が就職内定)、花：3箇所、果：3箇所(内3農場に3人が就職内定) 肉：1箇所の農場視察(1人が就職内定)</p> <p>■概ね計画通りの実績</p> <p>実績：15回、延べ65人面談(2/14時点) (前年度35回、延べ112人面談)</p> <p>■計画通りの実績</p> <p>実績：新規10人 ・今年度の新規申請者は、合計10人(本科1年6人、2年1人、短期養成科3人)。昨年度からの継続1人を含めると受給者は合計11人。</p>	<p>■(*7-内)</p> <p>A</p> <p>◆(*7-外)</p> <p>(*7-内) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①次年度も主管課、農業法人協会や関係機関等と連携し、農大生就農トライアル相談会を開催し、学生の就農支援の強化を図る。</p> <p>(*7-外) = 外部委員の意見 ①1,2年生での三者面談は、学校、保護者、学生との共通理解を得るのに重要です。ぜひ、継続して下さい。 ②計画通りの実績を上げている。保護者の参加率を上げるために開催方法に工夫が必要かもしれない。新規就農相談会や農場視察は充実しており素晴らしい。</p>
		<p>②沖縄県新規就職相談会等への参加や就職先として有力な農場視察</p>	<p>計画：2回</p>		
		<p>③新規就農コーディネーターとの連携</p>	<p>計画：随時</p>		
		<p>④農業次世代人材投資資金準備型受給希望学生への申請手続き等に関する助言</p>	<p>計画：新規10人</p>		
<p>イ.学生自治会活動に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか</p>	<p>①自治会の活動支援</p> <p>1)九州地区農業大学校農業経営力養成講座への派遣 2)九州地区リーダー研修会への派遣 3)九州地区親善体育大会への派遣</p> <p>4)自治会活動への取組支援</p> <p>5)校内球技大会等の開催</p>	<p>1)計画1人 2)計画：2人 3)計画：15人 4)計画：随時(週1回) 5)計画：3回</p>	<p>A</p> <p>■概ね計画通りの実績</p> <p>1)実績：1人 (派遣場所：千葉県、果樹2年) 2)実績：2人 3)実績：13人 (野球11人、ロードレース2人) 4)実績：役員会18回 職員と自治会役員との意見交換会(2/4) 5)実績：自治会行事3回 (4/18野球、9/20ビーチバレー、2/5ソフトバレー)</p>	<p>■(*8-内)</p> <p>A</p> <p>◆(*8-外)</p> <p>(*8-内) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①学生自治会役員と職員の意見交換を踏まえ、学生寮の運営について自治力を高めるため改善策を検討する。</p> <p>(*8-外) = 外部委員の意見 ①概ね計画通りの実績を上げている。自治会活動の充実が図られている。</p>	
<p>&lt;重点目標3&gt; 卒業生の就農率</p>	<p>ア 就農率の目標を達成出来たか。</p>	<p>①就農率</p>	<p>目標：就農率60%(本科+短期)</p>	<p>A</p> <p>■目標を達成する見込み</p> <p>実績：就農率67%</p>	<p>■(*9-内)</p> <p>A</p> <p>◆(*9-外)</p>

<p>の向上、進路決定率の向上</p>	<p>イ 卒業生全員の進路は決定したか。</p>	<p>②卒業生の全員の進路決定（目標 100%）</p>	<p>目標：進路決定率 100 %</p>	<p>（法人就農を含む） * H30 年度農業次世代人材投資資金準備型受給者（1年生 6 人、2 年生 2 人、短期 3 人）</p> <p>実績：100%</p>	<p><b>( * 9-内 )</b> = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①学生の就農・進路については、担任と教務の連携を密にし学生の支援に努める。</p> <p><b>( * 9-外 )</b> = 外部委員の意見 ①概ね計画通りの実績を上げている。就農率が全国平均を上回っており、また、進路決定率も 100%であり。努めて欲しい進路指導に手厚い今後もすばらしい。</p>
<p>&lt;重点目標 4&gt; 資格取得率の向上</p>	<p>ア. 資格取得の向上のため、指導が充実されているか。</p>	<p>①農業機械関連資格取得率 1) 農業機械士 2) 農耕用大型特殊 3) 農耕用けん引 4) フォークリフト運転技能講習修了 ②畜産関連資格取得率、受講率 1) 家畜人工授精師 2) 家畜商</p>	<p>1) 目標：認定率 70 % 2) 目標：合格率 100 % 3) 目標： " 100 % 4) 目標： " 100 %</p> <p>1) 目標：合格率 100 % 2) 目標： " 100%</p>	<p><b>A</b> ■概ね目標通りの成果を上げた</p> <p>1) 実績：22 人（合格率 58%） 2) 実績：29 人（ " 97%） 3) 実績：25 人（ " 100%） 4) 実績：28 人（ " 100%）</p> <p>1) 実績：10 人（合格率 100%） 2) 実績：11 人（合格率 100%）</p>	<p>■ ( * 10-内 )      ◆ ( * 10-外 ) A</p> <p><b>( * 10-内 )</b> = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①実習の待ち時間を活用し実務に役立つ実習を新たに追加する。 ②資格取得について合格者名簿の校内掲示を行う。 ③資格取得数の最も多い学生について表彰する。</p>
<p>イ. 営農や就職に有利な資格取得の推進が図られているか</p>	<p>①毒劇物取扱者資格取得数 ②農業技術検定（3 級、2 級）合格者数  ③ガス溶接技能講習修了 ④アーク溶接特別教育終了</p>	<p>①目標：4 人 （受験者 1 2 名） ②目標：2 級合格率 50%以上 3 級合格率 70%以上  ③目標：合格率 100 % ④目標： " 100 %</p>	<p>■①以外では概ね目標を達成した</p> <p>①実績：合格 0 人（受験者 10 人、合格率 0 %） ②実績：2 級合格 7 人（受験 21 人、合格率 33%） 3 級合格 8 人（受験 11 人、合格率 73%）  ③実績：33 人（合格率 100 %） ④実績：33 人（合格率 100 %）</p>	<p><b>( * 10-外 )</b> = 外部委員の意見 ①概ね計画通りの実績を上げている。毒劇物取扱者資格取得に向けた取り組みの強化が必要。農業技術検定の受験者数及び合格者数が増え、取り組みの成果が出ており、学生の自信につながるいい流れが出ている。今後とも継続した指導をしてほしい。</p>	
<p>&lt;重点目標 5&gt;</p>	<p>ア-1. 学生確保の活動は、</p>			<p><b>A</b> ■計画以上の取組実績 結果、H30 年度定員充足率 100%</p>	<p>■ ( * 11-内 )      ◆ ( * 11-外 ) A</p>

入学希望者の確保

適切に行われているか。  
ア-2.  
教育活動の積極的な情報公開に努めているか。

- ①オープンキャンパスの参加者数  
(目標：2回 100人)
- ②県内高校の進路ガイダンスでの学校案内
- ③ホームページによる情報発信数
- ④学校紹介・入学案内  
(パネル展示、相談会)

⑤マスコミ等による学校PR

- ①計画：2回  
第1回オープンキャンパス(6/8)  
第2回オープンキャンパス(7/14)  
オープンパスツアー(6/9)
- ②計画：5校
- ③計画：12回(月1回以上)
- ④計画：2回  
1) 第1回沖縄県新規就農相談会  
2) 第2回沖縄県新規就農相談会

計画：随時

- ①実績：2回、60人  
第1回オープンキャンパス(6/8 33人)  
第2回オープンキャンパス(7/14 23人)  
オープンパスツアー(6/9 4人)
- ②実績：15校、332人  
実施時期5月～7月、2月
- ③実績：18回(月3回以上)
- ④実績：10回  
1) 県庁地下食堂「南天」にてパネル展(5/8)  
2) 那覇市会場(6/11 17人)  
沖繩市会場(6/12 3人)  
名護市会場(6/13 11人)  
3) 学生募集要項配布件数(6月 105箇所)  
4) 県庁地下食堂「南天」にてパネル展(7/30)  
5) 第1回沖縄県新規就農相談会(8/5)  
6) 第2回沖縄県新規就農相談会(12/16)  
7) 第16回農大祭にて相談ブース設置(12/2)  
8) 花と食のフェスティバル県立武道館にて展示(1/26～27)
- ⑤実績：20回  
1) ゴーヤの日(5/8)(TV、新聞)  
2) 花摘み体験(5/31)(TV、新聞)  
3) IT活用(トロン)(6/11)  
4) 学校PR・研修生募集(6/23,6/24、TV)  
  
5) 削蹄講習会(7月、新聞)  
6) 農林水産副知事へのマンゴ-贈呈(7/17、新聞)  
7) 親子ふれあい農業体験(7/24、新聞、TV)  
8) 農大マンゴ-マルシェ(7/30～8/1)  
9) 家畜人工授精師合格者PR(9/12、新聞)  
10) 第16回農大祭イベント(11/22、新聞、TV)  
11) 第16回農大祭(12/2、TV、新聞)  
12) 九州プロジェクト学習成果発表会成績報告(1/24、新聞)  
13) 県内農業高校への九州プロジェクト結果速報の情報提供  
14) H30年度プロジェクト学習成果発表会(1/31、TV、新聞)  
  
(その他広報PR)  
JA 広報誌や市町村広報誌等にてイベント告知、学生募集等を複数回掲載させて頂いた。

(※11-内) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策  
①次年度の学生募集については、早い時期から活動が出来るよう取り組む。

(※11-外) = 外部委員の意見  
①計画以上の実績を上げている。オープンキャンパスの目標参加者人数が到達できていないのは残念だが、その他の活動で大変な努力がみられる。今後も地道に学生募集活動に努めて欲しい。

平成30年度 学生応募に関する活動事項

日時	内容	場所	面談生徒数
5/17～13	八重山地区訪問	八重農	6
5/21～22	宮古地区訪問	宮古総合実業高校	5
5/31～6/1	久米島地区訪問	久米島高校	54
6/8	オープンキャンパス	本校	32
6/11	進路相談会	那覇市民体育館	17
6/12	進路相談会	沖繩市民体育館	3
6/13	進路相談会	名護市21世紀の森体育館	11
6/22	進路相談会	宜野座高校	9
6/28	進路相談会	南部農林高校	15
7/14	オープンキャンパス	本校(オープンキャンパス)	56
		入学に関する見学 本校(H30.12月現在)	124
		実績	332

平成31年度(本科41期生、短期13期生)入試状況

課程	定員	出願者	合格者	入学者	充足率	
本科	園芸	30	24	23	21	106%
	畜産		22	11	11	
本科合計	30	46	34	32	106%	
短期養成合計	10	9	8	8	90%	
全体(本科+短期)	40	55	42	40	100%	

平成30年度 学校訪問状況

日時	学校名	面談実績	訪問者
5月17日	八重山高校	校長、進路担当	船越
5月17日	八重山商工高校	校長、教頭、定時教頭、進路担当	船越
5月18日	八重山農林高校	校長、教頭、進路担当	船越
5月21日	宮古高校	校長、進路担当	船越
5月21日	宮古総合実業高校	校長、教頭、進路担当	船越
5月21日	伊良部高校	教頭	船越
5月31日	久米島高校	校長、教頭、農業担当(6人)、進路指導員	船越
6月19日	北部農林高校	校長、教頭	校長、船越
6月19日	中部農林高校	校長、教頭	校長、船越
6月20日	南部農林高校	校長、教頭	校長、船越
6月22日	宜野座高校	進路担当	岩本
6月28日	泊高校	定時進路担当、通信進路担当	船越
6月28日	南風原高校	教頭、進路担当	船越
7月3日	西原高校	校長、教頭、進路担当	船越
7月3日	読谷高校	教頭、進路担当	船越

<p>&lt;重点目標6&gt; 効率的な学校運営</p>	<p>ア.法令の遵守と適切な予算運営がなされているか</p>	<p>①適正な予算執行がなされているか ①職員の情報共有化が図られているか</p>	<p>①定期監査目標 1)予算の適正な執行  2)校納金等管理マニュアルを作成し、H31年度より実施に向けて準備を行う</p>	<p>■指摘事項について事務取扱マニュアルを作成した  B 1)定期監査結果：校納金の会計処理方針を具体的に定める「私費会計取扱マニュアル」を作成し、事務処理の適正・透明化を図るよう指摘を受けた。 2)実績：「農業大学校校納金会計取扱マニュアル」及び「学生寮修繕負担区分」を作成、また、校納金会計システム(エクセルでプログラム)、後援会生産物販売システム(プログラム)を作成した。農業大学校後援会理事会に図り、H31年度より本格実施する予定。</p>	<p>■(*12-内)  A</p>	<p>◆(*12-外)  A</p> <p>( * 12-内 ) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①校納金と公費について会計処理方針に則って適正に処理する。</p> <p>( * 12-外 ) = 外部委員の意見 ①校納金取扱についてマニュアルを作成したので今後の適正な取扱に期待できる。</p>
	<p>イ.職員の情報の共有化が図られているか</p>		<p>目標：週1回</p>	<p>■目標通りの実績 B 実績：60回 ・職員朝会(毎週1回、50回/年) ・移転整備に係る「基本計画たたき台作成チーム」会議(8月～9月、5回) ・農大祭運営会議(8月～11月、3回) ・学生指導にかかる運営会議(2回)</p>	<p>A</p>	<p>◆(*13-外)  A</p> <p>( * 13-外 ) = 外部委員の意見 ①計画通りの実績。</p>
<p>ウ.学生の安全管理に対する意識は醸成されているか</p>	<p>①農作業事故発生件数</p>	<p>目標：0件</p>	<p>目標：0件</p>	<p>■目標を下回った C 実績：保険対応のケガ 4件</p>	<p>■(*14-内)  B</p>	<p>◆(*14-外)  B</p> <p>( * 14-内 ) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①学生への農作業安全に対する意識付けについて効果的な方法を検討し、学生指導に活かす。</p> <p>( * 14-外 ) = 外部委員の意見 ①学生の意識を高めていく必要がある。</p>
<p>エ.経営感覚の醸成プロジェクト実践研修での売上げ目標は達成出来ているか</p>	<p>①生産物の売払収入</p>	<p>目標：非公開</p>	<p>目標：非公開</p>	<p>■目標を達成できた A 実績：非公開</p>	<p>A</p>	<p>◆(*15-外)  A</p> <p>( * 15-外 ) = 外部委員の意見 ①計画通りの実績を上げている。</p>

<p>&lt;重点目標7&gt; 教育環境整備と施設管理の徹底</p>	<p>ア-1.教育施設、機械の充足度、維持管理、整理整頓、廃棄は、適切に行われているか。 ア-2 学生寮の生活環境への支援は行われているか。</p>	<p>①教育施設の移転整備に向けた準備 ②農業施設、機械等の充足度、廃棄等</p>	<p>計画：主管課と連携し追加書類等を作成 計画：5件 ①公用車キャバン購入（肉用牛） ②トラクタ購入（野菜） ③ディスクモア（肉用牛） ④草地造成（校内1、校外1、肉） ⑤学生寮のWi-fi整備</p>	<p>■概ね計画通りの実績を上げた B 実績：移転整備に向けた職員の意見書を取りまとめ主管課へ提出した（10月） 職員と主管課との基本計画作成に向け意見交換の開催（6回、9月～10月） * 移転先が宜野座村松田に決定した 2024年度の供用開始を副知事発表（8/31） 実績：10件 ①購入済 ②次年度以降の購入へ変更 ③購入済（肉用牛） ④校内及び校外2箇所造成済（肉用牛） ⑤学生寮のWi-fi整備（整備に向け進行中） ⑥学生寮のルームクーラー購入4台 ⑦学生寮の衣類乾燥機の購入3台 ⑧学生寮の洗濯機の購入3台 ⑨学生食堂の回転鍋の購入1台 ⑩教育棟1階大教室のクーラー購入1台</p>	<p>A</p>	<p>◆（*16-外） （*16-外）＝外部委員の意見 ①概ね計画通りの実績を上げた。 農大移転先が決定できた。施設の維持管理については計画以上の実績を上げた。学生生活環境の向上について学生との意見交換等も行っており今後も継続した支援に努めて欲しい。</p>
	<p>ア. 学校の教育資源や施設</p>	<p>①就農サポート講座の受講者</p>	<p>①目標：2回20人</p>	<p>■計画通りの実績を上げた A ①実績：2回21人</p>	<p>■（*17-内）</p>	<p>◆（*17-外）</p>

<p>&lt;重点目標 8&gt; 県民サービスの向上</p>	<p>設を活用した社会貢献を行っているか。</p>	<p>②夜間農業講座開催数</p> <p>③農業機械士養成研修開催数</p> <p>④農業機械メンテナンス研修開催数</p> <p>⑤指導農業機械士研修</p> <p>⑥視察の受入</p> <p>⑦研修受入</p> <p>⑧沖縄県国際農友会との連携活動</p> <p>⑨家畜人工授精師養成講習会の開催</p> <p>⑩花き栽培技術向上研修（新設）</p>	<p>（入門6月、実践8～10月）</p> <p>②目標：5回35人（10月）</p> <p>③目標：2回30人</p> <p>④目標：1回5人</p> <p>⑤目標：1回3人</p> <p>⑥計画：随時</p> <p>⑦計画：随時連携</p> <p>⑧計画：3回</p> <p>1) 海外農業派遣研修説明会</p> <p>2) 農大祭での出展協力</p> <p>3) 総会への参加</p> <p>⑨計画：13人 （一般受講生3名含む）</p> <p>⑩計画：3回、延べ15人 （8/11、10/6、11/10）</p>	<p>②実績：5回59人</p> <p>③実績：2回29人</p> <p>④実績：1回10人</p> <p>⑤実績：0回0人</p> <p>⑥実績：28件、315人</p> <p>⑦実績：2回12人 新入普及指導員研修（7/3 7人） 農業機械普及指導員研修（7/13 5人）</p> <p>⑧実績：3回（前年度9回）</p> <p>1) 海外農業派遣研修説明会（5/17）</p> <p>2) 総会への参加（7/7）</p> <p>3) 農大祭での出展協力（12/2）</p> <p>⑨実績：13人 *一般受講生3名含む</p> <p>⑩実績：3回、延べ41名</p>	<p>（*17-外）＝外部委員の意見</p> <p>①概ね計画通りの実績を上げた。各種取り組みについて学生や県民へのサービス向上につながっていると思う。今後も関係機関と連携して継続したサービス提供ができるよう努めて欲しい。</p>
-------------------------------------	---------------------------	---	--	---	---